

みんなの声

このコーナーでは、皆さんからお寄せいただいた「町への手紙」の一部とその回答を掲載します。なお、スペースの関係で質問の内容は一部簡略化させていただきます。

問 平成12年5月に町への手紙で「行政評価システム」の導入を図り、透明性と住民参加型を重視し、しかも費用対効果の評価が可能なシステム導入を提案しましたが、その後の進捗状況をお聞かせください。（大佐貫 男性）

答 本町では、総務省より報告された指針に基づき、普通会計ベースの貸借対照表（バランスシート）を平成12年11月に公表しました。これは、従来の地方自治法に基づく「現金主義」の決算に加え、企業会計の基本原則である「発生主義」に基づく決算を作成し、住民一人当たりの正味資産（自己資産）を数値化したものです。

今後は、各公共施設ごとの費用対効果を明確にするために損益計算書（行政コスト計算書）を作成し、民間との比較検討のうえコスト意識の徹底を図るよう努めています。

これからの行政評価は、「指摘のとおりplan（企画）do（施行）see（評価）accountability（説明責任）」の評価システムを構築し、

住民にわかりやすく説明して評価していただくことが不可欠でありますので、今後とも行革大綱を念頭に置き検討していきたいと思っております。（総務課）

問 町内には東部児童館という施設があるようですが、老朽化が進み、現在はガス・水道の供給も休止されていると聞きました。今後、整備する予定はありますか。それとも廃止する方向ですか。（梅原 女性）

答 ご質問の東部児童館は、JA館林市千江田支所の南側にある旧東部児童館のことと思います。この旧東部児童館（昭和41年築）は平成12年3月に建物の老朽化により児童館としての役目を終了し、現在は踊りのグループ（週1回）やボイスカウト（年17回）が暫定的に利用しているだけで、他は利用していない状況です。また、火災防止上からガスは使用できませんが、電気・水道は現在も使用できる状態になっています。

現在の東部児童館は、平成12年4月に場所を東小学校の南側の旧



現在は学童保育所と兼ねて運営している東部児童館

東保育園に移し、一部改良工事を行って東部児童館と東部学童保育所を兼用する形で開館しています。このように、現在は児童館と学童保育所を兼ねて運営しています。新たな児童館の整備については、財政面も視野に入れて考えていかなければなりませんので、現時点では未定となっております。（保健福祉課）

7月は社会を明るくする運動 強調月間です

ふれあいと 対話が築く 明るい社会

法務省主唱の「社会を明るくする運動」の強調月間が7月1日から1か月間全国一斉に展開されています。今年で52回目を迎えるこの運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするものです。

罪を犯した人や非行に陥った少年もいずれば地域に戻り、地域の一員として生活していくことになるわけですので、その立ち直りと円滑な社会復帰を確かなものとするためには、本人の強い意志と併せ家庭、学校、職場、地域社会の理解と協力が不可欠です。

特に、地域社会の連帯感の喪失、学校教育の危機的状況、家庭の養育機能の低下、大人社会の規範意識の低下などが指摘される現状にあつては、家庭、学校、職場、地域社会が一体となつてこうした問題に取り組んでいく必要があると思われまふ。皆さんもこの運動の推進に参画して参加しましょう。また、犯罪や非行のない明るい社会づく

りをするために、それぞれの立場においてご協力をお願いいたします。

重点目標
犯罪や非行を防止し、罪を犯した人や少年の更生を支え、人々が支え合つて生きていく明るい地域づくりに参画する。

統一標語
ふれあいと 対話が築く 明るい社会



保健福祉課（老人福祉センター内）
☎(84)4926